

会長就任のご挨拶

福島原子力企業協議会
会長 渡辺 勇治



令和6年度の福島原子力企業協議会の会長に就任いたしました、東京エネシスの渡辺です。
就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

2011年の東日本大震災・福島第一原子力発電所事故から13年が経過し、福島第一の作業環境も改善され着実に復旧作業が進んでいます。

また、福島第一の地元大熊町では、小学校の再開や大野駅周辺の復興再生拠点の整備など、復興に向けた活動が盛んになっています。

福島第一では、今年度2回目（累計6回目）のALPS処理水の海洋放出が開始されたこと、2号機は燃料デブリ試験的取出し作業に向けた準備が進められています。

また、福島第二ではプラントの安定・維持のため冷温停止状態を確保しつつ、廃止措置実行計画に基づき第1段階の準備期間を着実に進めており、これらの作業を安全かつ確実に進めていくことで、地域の皆様からの信頼につながっていくものと考えております。

新型コロナウイルス感染症以降は、コミュニケーション活動など滞っていた事業もある事から、文化・体育活動を再開し会員相互のコミュニケーション醸成を図り、従事者の皆様一人ひとりの安全意識の向上に少しでも役に立てるよう、東京電力ホールディングス殿と会員各社のご支援ご協力をいただきながら努力してまいりますので、よろしく願いいたします。